

平成 21 年 5 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2006～2009
課題番号：18320103
研究課題名（和文） 歴史史料と中世都市の情報学的研究

研究課題名（英文） An interdisciplinary research on historical sources and cities in the medieval period.

研究代表者

本郷 和人（HONGO KAZUTO）
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号；80209311

研究分野：日本史

科研費の分科・細目：史学・日本史（細目番号 3102）

キーワード：都市史研究、歴史地理学、吾妻鏡、民俗史料、史料学、鎌倉、歴史情報学、考古史料

1. 研究計画の概要

本研究は、これまで歴史学研究的の素材として研究者により利用されてきた歴史史料が有する情報を「歴史情報」としてとらえ、中世史料学研究と中世都市研究の成果を踏まえつつ、歴史情報の蓄積と提供に関わる新たな方法を探りつつ、都市史研究に新たな段階を拓くことを目的としている。具体的には、下記の三点を中心に研究を進める。

（1）文献史料に対するアクセスの可能性を飛躍的に拡大するための試みとして『現代語訳 吾妻鏡』を刊行する。

（2）ケーススタディーとして中世都市鎌倉を取り上げ、文献史料・考古史料・民俗史料の情報を WEB 上のマップに掲載した鎌倉ヴァーチャルマップを構築・公開する。

（3）中世都市研究の新たな方法を提案する場として「中世都市研究会」を開催し、その成果を公表する。

2. 研究の進捗状況

（1）2007 年 11 月に『現代語訳 吾妻鏡』第 1 冊「頼朝の挙兵」を吉川弘文館より刊行し、以後第 2 冊「平氏滅亡」・第 3 冊「幕府と朝廷」・第 4 冊「奥州合戦」・第 5 冊「征夷大將軍」を公刊した（以後 16 冊まで続刊）。

（2）初年度にベースマップを立ち上げた後、2008 年 11 月に Google マップ上に構築した試行版を鎌倉をフィールドとする考古学研究者に公開した。現在は個人情報保護の観点からヴァーチャルマップ本体は入り口を設けた限定公開とし、素材としての史料情報は連携研究者鋤柄俊夫氏の WEB サイトで公開

している。

（3）2007 年に「中世都市研究会 開発と災害」を、08 年に「中世都市研究会 都市を比較する 東アジアの都市と住宅」をそれぞれ東京大学で開催し、前者の成果は『中世都市研究 14 開発と災害』（新人物往来社、2008 年）として刊行した。

3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進行している。

（理由）『現代語訳 吾妻鏡』（既刊 5 冊、2008 年 3 月現在、以下続刊）は幸いにも好評のうちに迎えられ、各刊 8 千部から 1 万部を発行している。また鎌倉ヴァーチャルマップについては、個人宅の住所などの情報を掲載していることに鑑みて限定公開に切り替えているが、Google マップをベースとしたことで情報の汎用性は飛躍的に拡大した。さらに中世都市研究会の定期的な開催により、中世都市研究の新たな視座を提供している。

4. 今後の研究の推進方策

引き続き『現代語訳 吾妻鏡』を編纂・刊行するとともに、鎌倉ヴァーチャルマップの情報を一般公開用と研究者用とに弁別して広く成果を一般にも公開する。また本年 9 月に中世都市研究会「都市を区切る」を開催し、都市研究の方法をめぐる議論に一区切りをつける予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計3件)

本郷和人・新田一郎・本郷恵子ほか、「『日本の中世』像を更新する」、『Ratio』4、P80-119、2007年、査読無

五味文彦、「『鳥獣人物戯画』の描かれた世界を知る」、『美術手帖』59(901)、P72-75、2007年、査読無

五味文彦、「史料を読み、歩く」4-8、『UP』37(1)(3)(5)(7)(9)、25.pp、2008年、査読有

〔学会発表〕(計3件)

高橋慎一郎、「鎌倉と災害」、中世都市研究会、2007年9月2日、於：東京大学

五味文彦、「問題提起 都市を比較する 東アジアの都市と住宅」、2008年9月1日、於：東京大学

鋤柄俊夫、「善光寺とその門前の考古学的景観復元」、日本民俗建築学会、2008年10月13日、於：善光寺講堂

〔図書〕(計8件)

五味文彦・本郷和人(編)、吉川弘文館、『現代語訳 吾妻鏡』1「頼朝の挙兵」、2007年、251.pp

五味文彦・本郷和人(編)、吉川弘文館、『現代語訳 吾妻鏡』2「平氏滅亡」、2008年、263.pp

五味文彦・本郷和人(編)、吉川弘文館、『現代語訳 吾妻鏡』3「幕府と朝廷」、2008年、251.pp

五味文彦・本郷和人(編)、吉川弘文館、『現代語訳 吾妻鏡』4「奥州合戦」、2008年、235.pp

五味文彦・本郷和人(編)、吉川弘文館、『現代語訳 吾妻鏡』5「征夷大將軍」、2009年、290.pp

本郷和人、筑摩書房、『武士から王へ』、2007年、238.pp

五味文彦、新人物往来社、『王の記憶 王権と都市』、2007年、277.pp

五味文彦、岩波書店、『日本の中世を歩く 遺跡を訪ね、史料を読む』、2009年、210.pp

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕

<http://tsukigar.doshisha.ac.jp/>

鎌倉ヴァーチャルマップ作成の過程で収集した歴史情報の一部を公開している。